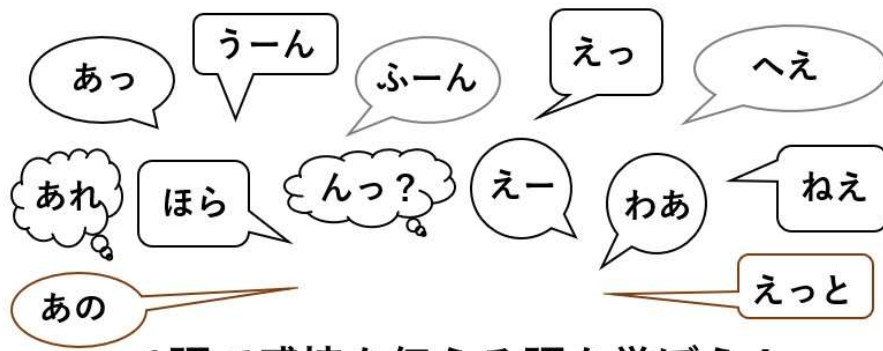




1語で感情を伝える語を学ぼう！

1 どう違いますか

(1) ポケットに手を入れて、独り言を言う。

- ① あれ、ハンカチない。
- ② えっ、ハンカチない。

(2) 社内の会議の後に、後輩が先輩に、会議への感想を言う。

後輩： さっきの山田さんの提案は、ちょっと難しくないですか？

- 先輩： ① うーん、そうかなあ。
② んっ？ そうかなあ。

(3) 友達が雑誌を持ってきて、見せる。

友達： 見て、うちの学校が雑誌に載ってるよ。

- 友達： ① あっ、ほんとだ。
② へえ、ほんとだ。

(4) スポーツの結果をテレビで見て、応援している人が2位だったときに言う。

- ① えー、2位だ！
- ② わあ、2位だ！

(5) 夫が仕事から帰ってきて、妻に報告をする。

夫： 転勤が決まったよ。

- 妻： ① えっ、そうなの。
② えー、そうなの。

2 続けて話しましょう

(1) 友人同士で、コンサートに行く計画を立てている。

Aさん：駅からコンサートホールまで、歩いて10分だね。

Bさん：えっ、_____

(2) 友人同士で、携帯に保存されている写真を見せながら話している。

Aさん：見て、このケーキ、自分で作ったの。

Bさん：わあ、_____

(3) 友人同士で、サークルのイベントのチラシを見せながら話している。

Aさん：ねえねえ、見て。チラシ作ったんだけど、どう思う？

Bさん：うーん、_____

(4) 教師と学生の田中さんが話している。

教師：あれ？田中さん、宿題は？

田中：あの…、_____

(5) 鍵が見つからず、部屋の中を探している。

あっ、_____

3 何を使いますか

(1) 寮の歓迎会で初めて会った人同士が自己紹介をしている。

パク： こんにちは。

カルロス：()、こんにちは。

パク：はじめまして、私はパクです。韓国人です。どうぞよろしくお願いします。

カルロス：こちらこそ、どうぞよろしくお願いします。私はカルロスです。

パク：カルロスさん、お国はどちらですか。

カルロス：ブラジルです。

パク：そうですか。カルロスさんは学生ですか。

カルロス：いいえ、学生じゃありません。会社員です。パクさんは学生ですか。

パク：はい。あおぞら日本語学校の学生です。

カルロス：そうですか。パクさんの趣味は何ですか。

パク：私の趣味は旅行と映画です。

カルロス：()、私の趣味も映画です。

パク：()、同じですね。

(『できる日本語初級本冊』第1課 p. 30 を基に作成)

(2) メアリーがはじめてのデートから帰ってきて、ホストファミリーの家族と話している。

メアリー：ただいま。

お父さん：おかえりなさい。映画はどうでしたか。

メアリー：見ませんでした。たけしさんは来ませんでした。

お父さん：()、どうしてですか。

メアリー：わかりません。だから一人で本屋とお寺に行きました。

たけしさんとメアリーが電話をしている。

たけし：はい、木村です。

メアリー：もしもし、たけしさんですか。メアリーです。たけしさん、今日来ませんでしたね。

たけし：行きましたよ。ハーゲンダッツの前で1時間待ちましたよ。

メアリー：()。ハーゲンダッツじゃありませんよ。マクドナルドですよ。

たけし：マクドナルド・・・・・・・・ごめんなさい！

(『初級日本語げんき I』第4課 p. 72 を基に作成)

(3) 友達同士が、ロープウエーに乗って山の頂上に行こうとしている。

パク：ロープウエー乗り場はどこ？

ワン：()、あそこ。

マルコ：ワンさん、山の上までいくら？

ワン：()、450 円だよ。

マルコ：450 円ね。

ナタポン：()？ 500 円入れたのに、お釣りが出ない。

ワン：()、じゃ、係の人に言いに行こう。

ナタポン：うん。

:

ナタポン：お待たせ。

ワン：じゃ、行こう。()、見てみて。ロープウエーが下りてくる。

パク：本当だ。みんな、早く行こう。

(『できる日本語初中級本冊』第10課 p. 150 を基に作成)

4 意味と例文

① あっ： 何かを思い出したときや、何かを発見したときに使います。独り言でも使えます。

(1) 数学の問題をずっと考えていて、答えがわかった時の独り言

Aさん：あっ、わかった！

(2) 歩いているときにハンカチを落としたが、通りがかりの人が声をかけてくれた

通りがかりの人：ハンカチ、落ちましたよ。

Aさん：あっ、すみません。ありがとうございます。

(3) 授業中

学生：先生、プリント、足りません。

先生：隣の席にありますよ。

学生：(独り言) あっ、本当だ。(先生に向かって) すみません。

② うーん： 思考中や、迷っている様子を表します。独り言でも使えます。応答を表す「うん」や否定を表す「ううん」との音の違いに注意が必要です。

(1) レストランでメニューを見ている時の独り言

Aさん：うーん、どれにしようかな…。

(2) 友人同士で、花見の計画を立てている

Aさん：日曜日に北町公園がいいんじゃない？

Bさん：うーん、そうだねえ。でも、北町公園はあんまり広くないから、昼から行ったらもういっぱいなんじゃない？

Aさん：あ、そうか。じゃ、ちょっと遠いけど、大川公園まで行く？

(3) 同僚同士でイベントの準備をしている

Aさん：チラシのコピーは500部でいいですかね。

Bさん：うーん、もう少し増やしませんか？ 前回の出席者がちょうど500くらいなので。

Aさん：そうですね。そうしましょう。

③ ふーん： 新しい情報を知ったときに使います。中立の評価を表すことが多いですが、音調や後続する言葉によって、悪い評価になることも多いです。

(1) 親子の雑談

子供：ねえ、お母さん。学校の校歌って、昔の生徒が歌詞を作ったんだって。

母：ふーん、そうなの。

(2) それほど親しくはない知り合い同士の雑談

Aさん：子供のころからピアノを習っていらっしゃるんですか。

Bさん：ええ。

Aさん：いつごろからですか。

Bさん：2歳ぐらいですね。隣の家でピアノ教室をやっていて、それで習い始めたんです。

Aさん：ふーん、そうなんですね。

④ えっ： 自分の予想や考えていたことと違うことに対して、驚きや意外な気持ちを表します。いろいろなことを考える前の、瞬間的な反応です。疑問や理解不能という意味を表す感動詞の「えー」(⑩)やフィラーの「えー」、応答を表す「ええ」との音の違いに注意が必要です。

(1) パソコンで文書を作成していたら、突然ファイルが消えた時の独り言

Aさん：えっ、消えた！

(2) 友人同士の雑談

Aさん：あのさ、私、あしたの集まり、行けなくなったんだ。

Bさん：えっ、行けないの？

Aさん：ごめんね。

(3) 降り出した雨を見ながら、会社の同僚同士で話している

Aさん：この雨、夕方からもっとひどくなるみたいですよ。

Bさん：えっ、本当ですか？ 今日、傘を忘れちゃったんですよね。

Aさん：僕もです。天気予報では晴れでしたもんね。

⑤ へえ： 驚きを表します。新しい情報を知って、それが自分の持っている知識にうまく組み込めたことを表し、多くは肯定的な評価になります。音調によってはぞんざいにもなるため、注意が必要です。

(1) 会社の先輩・後輩同士の昼食中の雑談

後輩：いつも自分でお弁当を作るんですか。

先輩：ええ。妻のお弁当も、子供たちのお弁当も作りますよ。

後輩：へえ、すごいですね。

(2) 友人同士の雑談

Aさん：昨日テレビでやってたんだけど、人間の体の中の血管の長さって、地球2周分以上あるんだって。

Bさん：へえ、そんなに長いんだ。

⑥ **ねえ**：相手の注意をひきたいときに使います。文頭で用い、会話をスタートさせる働きをすることが多いです。「ねえねえ」と繰り返すことも多いです。

(1) 家族同士のやりとり

姉：ねえねえ、ここに置いてあった雑誌知らない？

妹：雑誌？ なかったよ。

母：あ、雑誌ね。すごく汚れてたから、捨てるのかと思って、あっちに持って行っちゃった。

姉：えー、まだ読んでる途中なのよー。

(2) 女性の友人同士のレストランでの雑談

Aさん：(メニューを見ながら) わあ、いろいろあって迷っちゃうね。

(少しメニューを見た後) ねえ、Bさん、何にする？

Bさん：うーん、私はこのセットかな。

⑦ **あれ**：驚きを表します。起こった状況や目の前にある情報を一度受け止め、それが自分の持っている知識や予想と違う、ということを表します。そのため、「あれ」の後ろには「おかしいな」のような表現や、相手の発話に対する疑問を述べる人が多いです。

(1) 作業がうまくいかないときの独り言

Aさん：あれ、おかしいな。

(2) 会議中の同僚同士のやり取り

Aさん：えっと、明日の打ち合わせは10時から東京なので、みなさん、直接会場にいらしてください。

Bさん：あれ、明日は横浜じゃないですか？

Aさん：横浜は来週ですよ。

Bさん：あ、そうですか。

(3) 友人同士の雑談

Aさん：きのう、ケンタにメールしたら、元気にやってるって。友達もたくさんできたって言ってたよ。

Bさん：あれ、ケンタって、もうイギリスに行ったんだっけ？

Aさん：そうそう、先週から留学スタートだよ。

⑧ ほら：相手の注意をひきたいときに使います。何かを示して見せたいとき、思い出したい何かを示したいときなどに使います。

(1) 友人同士の雑談

Aさん：お正月にやる遊び、何だったけ？ 昔よくやった…、ほら、目隠しして、目とか鼻とかのパーツを置いていくやつ。

Bさん：ああ、「福笑い」ね。

(2) 友人同士の雑談

Aさん：週末、雨降るらしいよ。

Bさん：えー、うそ。週間天気では晴れになってたけど。

Aさん：(携帯で天気図を見せる) ほら、これ見て。台風が進路を変えたんだって。

⑨ んっ？：疑問を表します。応答の「ん」(「うん」の省略形)や、フィラーの「んー」と違って、語尾が上昇します。

(1) 友人同士の雑談

Aさん：見て見て、これなんだと思う？

Bさん：ん？ 食べ物？

(2) 学生と事務所スタッフの会話

学生：すみません、コピー用紙いただけますか。

事務スタッフ：ん？ もうないですか？ 昨日入れたのになあ。

⑩ えー：疑問や、理解不能という気持ちを表します。やや非難めいたマイナス評価で用いることが特徴です。フィラーの「えー」(平板型)や、予想外を表す感動詞の「えっ」(④)と違って、語尾が上昇します。

(1) 授業中の先生と生徒のやり取り

先生：突然ですが、明日テストをします。

生徒みんな：えー！

(2) 友人同士の食事中の雑談

Aさん：私、実はトマト食べられないんだ。

Bさん：えー、そうなの？

⑪ わあ：自分の予想を越えることに対する驚きや意外性・感動を表します。独り言でも使えます。

(1) 満開の桜を見た時の独り言

Aさん：わあ、きれい！

(2) 友人同士の雑談

Aさん：Bさん、今日誕生日だったよね。はい、ちょっとただけけど、プレゼント。

Bさん：わあ、覚えててくれたの？ ありがとう！

(3) 会社の先輩と後輩の雑談

先輩：今週は会議が重なって、準備が大変…。

後輩：どのくらい重なってるんですか。

先輩：水曜日に顧客満足度調査の会議で、結果資料出さないといけなくて、金曜日には次の商品立ち上げの戦略会議。

後輩：わあ、それは大変ですね。

⑫ あのー：言いよどみを表すフィラーです。相手がいる丁寧な場面で使います。どんなふうに言おうか考えている、という合図になります。そのため、会話の切り出しや、言いにくいことを言う時にも使います。

(1) 上司とアルバイトのやりとり

アルバイト：あの、すみません。あした、僕バイト入ってるんですが、ちょっと外せない用事ができてしまいまして…。

上司：来られないんですか。

アルバイト：いえ、そうじゃないんですが、あのー、30分ほど遅れてしまいそうです…。

(2) 授業中に教員と学生でディスカッションをしている

先生：じゃ、次、田中くん、今の意見について、どう思いますか。

学生：あの、僕はちょっと違う考えなんですけど。

(3) 知り合い同士

Aさん：Bさん、富士山に登ったこと、ありますか？

Bさん：ええ。

Aさん：わあ、すごいですね。山登り、よくなさるんですか？

Bさん：いや、あの、登ったのは富士山だけなんです。他の山は全然登ったことないんです。

⑬ えっと： 言いよどみを表すフィラーです。相手がいる時にも、1人で話す時にも使えます。次の発話を考えている、という合図になります。

(1) 会議中の発言

Aさん：では次は、予算についてご報告します。お配りの資料の、えっと（資料をめくりながらページを探している）、3ページ目を見ていただけますか。

(2) 子供が母親に質問している

子供：おかあさん、あしたのプール、休みだよな？

母：えーっと、どうだったかな。ちょっと調べるね。